

3学年通信

新宮町立新宮東中学校
令和8年6月18日 第16号
文責:江頭 俊輔

[FIFA ワールドカップ 2026 が開幕しています!]

先日もお伝えしましたが、北中米ワールドカップが開幕しています。北中米開催ということで、日本時間では深夜～早朝、午前中に試合が中継されています。ぜひ、4年に1度しかないサッカーの祭典ですので、日本代表を応援しましょう。(4年後を想像すると、みなさんは高校を卒業し、大学生になっている人もいれば、社会人になっている人もいるはずです。光陰矢の如しとはまさにこのことですね。)

6月15日(月)には日本代表の初戦であるオランダ戦が行われました。強豪であるオランダに対して、先制を許すも、一歩も引くことなく、いやむしろ日本代表らしいサッカーを繰り広げ、最終的には2点をもぎ取り、同点に追いつきました。どんな状況でも焦らず、日本代表らしいコンパクトで粘り強いサッカーを続ける姿から、「世界に通用するチーム力」を信じて闘う選手の統一された気持ちを見ることができました。「初戦は負けないことが大切。」というセオリーを体現してくれました。次は6月21日(日)13時からチュニジア戦が予定されています。観戦しやすい時間なので、ぜひ、日本代表を応援しましょう。



[元気をもらえるチームを紹介します!]

今回のワールドカップの最も大きな特徴は出場国数が拡大されたことです。出場枠が従来の32チームから、48チームへと拡大されたことを受け、今まで聞いたことがない国も参加しており、注目が集まっています。今回は江頭がノーマークだったにも関わらず、「なんか元気をもらえそう!」というチームを紹介します。ワールドカップ初出場、アフリカの島国である「カーボベルデ代表」です。

今大会で最も面積が小さい国として知られているカーボベルデ。(江頭も国名すら初めて聞きました。)1975年にポルトガルから独立。広さは日本の滋賀県と同じくらいだそうです。人口は約60万人で、福岡というと福岡市東区(322,503人)と久留米市(303,316人)の人口を足したくらいの国です。

カーボベルデ代表が注目を集めた理由は、その初戦で優勝候補のスペインに対して「無失点」で引き分けたからです。江頭も「何の迷いもなく、スペインが圧勝するだろう」と思っていたので、その結果には驚愕しました。

注目されたのは40歳のGKボジーニャ(右図)です。(参考)ゲキサカ編集部。“40歳のW杯ニューヒーロー誕生!! カーボベルデ代表GKボジーニャがスペイン完封、試合後1時間でフォロワー約170万人増加”。ゲキサカ.2026-06-16. <https://web.gekisaka.jp/news/worldcup/detail/?453492-453492-f1>



ワールドカップデビュー戦で完封した最年長GKとなったと記事では報じられています。

スペイン戦前のカーボベルデ代表ペドロ・ブリト監督のコメントはとても印象的です。「スペイン戦は絶好の機会だと考えています。カーボベルデはワールドカップのすべての試合を楽しむでしょう。チーム全体が恐れを知らない精神でプレーします。」「私たちはカーボベルデの人々について語っているのです。私たちは困難を恐れませんが、なぜなら、常に困難を乗り越えることを楽しんでいるからです」(参考) Báo Văn Hóa.” カーボベルデ代表監督:「我々はスペインを恐れていない」”.Vietnam.vn.2026-06-15. <https://www.vietnam.vn/ja/hlv-cape-verde-chung-toi-khong-so-tay-ban-nha> ジャイアントキリングに最も適したメンタリティですね。カーボベルデ代表から元気をもらい、受験生生活を楽しみましょう!